

## 後記

これまで毎年のように事務局を、という話がありました。当方は、数年前からやゝ二種兼業化しつゝあり、村研に対しても積極的な会員ではありませんでしたが、ここで反省をして「村研むら」の小走りとして働く覚悟を決めました。だが、これまでの事務局の方々は、すべて優れている人ばかりだったし、なかならず前事務局の岩本さんは、運営に関しても会計においても能力のある方なので、どうもやりにくくてかないません。それに、村研の運営にも不案内なところがありますので、行きとどかない点が多々あるのではないかと存じています。このような有様なので、山本一人では力が及ばないと思ひまして、宮川さんと二人でやっいていくことにいたしました。また何かと会員の皆さんのご協力をお願いすることになるかと存じます。

第二四回大会の「村落生活の変化と現状」は、さまざまの問題を提起いたしました。これを今後どのような形でひき継いでいくか、ということ。研究会活動に注目したいところです。

山本 英治